

中高一貫教育 1期生が健闘

松本秀峰、東大や医学部に合格者

生徒が合格した大学名を張り出す職員110日、松本市埋橋2丁目の松本秀峰中等教育学校
中等教育学校
第一期生



学校法人松商学園が2010年に松本市に開校した松本秀峰中等教育学校が、この春卒業した1期生81人の15日現在の入試結果を公表した。

主な国公立大の合格者は東大1人▽信州大10人▽新潟大1人▽東京医科歯科大1人▽名古屋大1人▽お茶の水女子大1人▽千葉大1人▽横浜国立大1人▽金沢大2人など。医学部医学科は信州大と新潟大に各1人合格した。主な私大は早大9人▽慶大4人▽上智大3人▽青山学院大と東京理科大が各7人など。

同校は中高6年間の完全一貫教育を行う県内初の中等教育学校。教育関係者らが1期生の進路を注目していた。東大は文科Ⅲ類に女子生徒が合格したという。菱田智晴教頭は入試結果について「個性的な生徒が多く、進路もバラエティーに富んだものになった。本校の中高一貫教育が、生徒それぞれの希望に対応できることを示せた。英語に強いという特長も出せたと思う」と話している。

一方、県立の進学校として知られる長野高校は東大に10人（現役6人、浪人4人）、京大に4人（全員現役）が合格。松本深志高校は東大に4人（現役2人、浪人2人）、京大に7人（現役3人、浪人4人）が合格した。（佐藤孝之）